

授業科目

中枢神経系理学療法学（成人）

担当教員名 星 孝、正木 光裕、犬飼 康人	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	4（うち3単位）	時間数	120（うち88）

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

中枢神経系に障害をもたらす疾病は多くあり、その障害像も多様、複雑である。理学療法の評価における展開では、適切な評価とクリニカルリズニングの力が必要となり、その実施には脳の機能や構造の知識、運動機能に障害をもたらす関連についての理解が基本事項として必要となる。また、治療における展開では、実施内容の表現と効果につなげる技能、並びに、評価のフィードバックの反復が重要となる。本授業では、クリニカルリズニングの実行に及ぶ基本事項を学習し、多くの評価項目の理解を促す。さらに、学生による評価事象の表出を実施する。また、適宜理学療法の紹介を行い、学生期には得難い臨床における実践のイメージを認識できるように構成する。

授業の目的

中枢神経系疾患の病態や加療時期の違いによる理学療法を理解し、必要な検査項目を列挙、および選択できるための基礎知識を修得する。さらに、理学療法実践への展開につながる基礎的な技術を身につける。

学習目標

1. 脳の機能局在や障害により出現する症状を述べる
2. 脳血管疾患の病態と合併症を説明する
3. 脳血管疾患のリスクとその重要性について説明する
4. 全身管理の判断に必要な評価を理解し説明する
5. 中枢神経系障害者に対する各種検査の意義を理解し、検査測定を実施する
6. 中枢神経系障害者の動作分析の意義を理解し、分析する
7. 評価実施の導入や結果を模擬疾患患者（あるいは家族）に説明する
8. 中枢神経系障害の症状を評価し、治療計画の立案を模倣する
9. 中枢神経系障害者に対する運動療法を模倣する
10. 加療する時期や症状の違い、および障害重症度による理学療法展開の違いを述べる
11. 脊髄損傷やの障害像について説明する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、CVAスクリーニング	講義、演習：シラバスオリエンテーション：本授業のスケジュール、試験方法と評価規準。スクリーニング評価表に記載されている項目の理解と意義	星 孝 他
2	中枢神経系理学療法の基礎知識	講義、演習：中枢神経系の構造と機能の理解のための基礎知識	星 孝 他
3	脳血管障害に対する評価（1-a）	講義、演習：トランスファーの分析と実際	星 孝
4	脳血管障害に対する評価（1-b）	講義、演習：動作表示の手法、説明用パンフレットの作成	星 孝
5	脳血管障害に対する評価（2-a）	講義、演習：姿勢評価・分析	星 孝
6	脳血管障害に対する評価（2-b）	講義、演習：基本動作の評価・分析、図示の実行	星 孝
7	運動と感覚の中枢機能と構造	講義、演習：基本的な解剖知識、運動経路の解剖、神経所見と障害	星 孝 他
8	脳血管障害における医学管理	講義、演習：自動調節能とその障害、虚血性脳疾患および出血性脳疾患に対する急性期治療	星 孝 他
9	脳血管障害の予後予測	講義、演習：予後予測	星 孝
10	脳血管障害の安全な環境配慮	講義、演習：安全管理が困難なケースの検討	星 孝
11	脳血管障害に対する評価（3-a）	講義、演習：予測的姿勢制御	犬飼 康人
12	脳血管障害に対する評価（3-b）	講義、演習：運動連鎖	犬飼 康人
13	脳損傷の定義と病態	講義、演習：脳損傷を引き起こす疾患と外傷	星 孝 他
14	脳の損傷とその回復	講義、演習：脳血管障害後の機能回復の特徴、機能的再組織化と脳の可塑性	星 孝 他
15	中枢神経系（成人）の運動療法（1-a）	講義、演習：寝返りからの動作評価とアプローチ	星 孝

16	中枢神経系（成人）の運動療法（1-b）	講義、演習：起き上がりからの動作評価とアプローチ	星 孝
17	脳血管障害のトレーニング（1-a）	講義、演習：超急性期の理学療法	犬飼 康人 他
18	脳血管障害のトレーニング（1-b）	講義、演習：急性期の理学療法	犬飼 康人
19	脳血管障害におけるリハビリテーションの流れ	講義、演習：急性期、回復期、維持期のリハビリテーション、脳卒中治療ガイドラインにおけるエビデンス	星 孝 他
20	脳血管障害片麻痺に対する評価	講義、演習：impairment, activity limitationの評価	星 孝 他
21	中枢神経系（成人）の運動療法（2-a）	講義、演習：起き上がりから端座位の評価と分析	星 孝
22	中枢神経系（成人）の運動療法（2-b）	講義、演習：端座位動作のアプローチ	星 孝
23	脳血管障害のトレーニング（2-a）	講義、演習：亜急性期の理学療法（上肢・体幹）	犬飼 康人
24	脳血管障害のトレーニング（2-b）	講義、演習：亜急性期の理学療法（下肢・体幹）	犬飼 康人
25	脳血管障害後の片麻痺患者の運動障害	講義、演習：身体構造と機能の問題、筋力、筋緊張、随意運動の制御機構、バランス機能、運動耐用能	星 孝 他
26	脳の構造と機能	講義、演習：大脳基底核、小脳、脳幹	星 孝 他
27	中枢神経系（成人）の運動療法（3-a）	講義、演習：立ち上がり動作の評価と分析	星 孝
28	中枢神経系（成人）の運動療法（3-b）	講義、演習：立ち上がりから立位におけるアプローチ	星 孝
29	脳血管障害のトレーニング（3-a）	講義、演習：回復期の理学療法（上肢・体幹）	犬飼 康人
30	脳血管障害のトレーニング（3-b）	講義、演習：回復期の理学療法（下肢・体幹）	犬飼 康人
31	脳血管障害における合併症（1）	講義、演習：肩関節痛、視床痛	星 孝 他
32	脳血管障害における合併症（2）	講義、演習：摂食嚥下障害	星 孝 他
33	中枢神経系（成人）の運動療法（4-a）	講義、演習：立位動作の評価と分析	星 孝
34	中枢神経系（成人）の運動療法（4-b）	講義、演習：立位におけるアプローチ	星 孝
35	中枢神経系の歩行分析	講義、演習：正常歩行と障害による特徴的歩行	犬飼 康人
36	中枢神経系の歩行トレーニング	講義、演習：歩行トレーニングの実際	犬飼 康人
37	中枢神経系（成人）の運動療法（5-a）	神経筋アプローチの紹介、ADL直接運動療法と部位分節的運動療法、	星 孝
38	中枢神経系（成人）の運動療法（5-b）	プッシャー症候群	星 孝
39	脳卒中以外の中枢神経系障害の理学療法	講義、演習：パーキンソン病の病態、失調症の病態	犬飼 康人
40	脳卒中以外の中枢神経系障害の理学療法	講義、演習：パーキンソン病の理学療法、失調症の理学療法	犬飼 康人
41	脳血管障害のトレーニング（4-a）	講義、演習：加療時期による理学療法展開の違い、慢性期の理学療法	星 孝
42	脳血管障害のトレーニング（4-b）	講義、演習：フィジカルアセスメント	星 孝
43	脊髄損傷の理学療法（1）	講義、演習：脊髄損傷者の評価、治療	犬飼 康人
44	脊髄損傷の理学療法（2）	講義、演習：脊損治療の留意点	犬飼 康人

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
	神経障害理学療法学 1（15レクチャーシリーズ）	石川 朗 他	中山書店	2012年	2,400円＋税	

教科書	病気がみえる vol 7 脳・神経	医療情報科学研究所 他	メディックメディア	2011年	3,800円+税	
	神経障害理学療法学 2 (15レクチャーシリーズ)	石川 朗	中山書店	2012年	2,400円+税	
参考書	ベットサイドの神経の診かた	田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦 他	南山堂	2013年	7,200円+税	
	観察による歩行分析	月城 慶一、山本 澄子、江原 義弘	医学書院	2013年	5,000円+税	
その他の資料						

評価方法

- ・筆記試験・実技試験・課題レポートで評価する。なお、筆記（55%）、実技（40%）、レポート（5%）の採点配分とする。
- ・評価項目は、理学療法評価、治療に必要な知識と実施に至る思考や判断、および治療技能である。
- また、実施背景となる中枢神経系の機能等の理解も評価項目とする。
- ・評価視点については、授業開始時に表示および説明するルーブリックにおいて提示する。

履修上の留意点

- ・当科目は、“成人”と“小児”の2部に分かれており、評価は2部の総合で評定される。
- ・課題レポートは、必要時の教員の指示により提出を行う。
- ・演習時間でなくても、実技や検査の実施が時間内で部分的に行われることがあり、実施に適切な服装での参加を希望する。

オフィスアワー・連絡先

星 孝：本科目授業日の18時-19時、研究室 E113、takashi-hoshi@nuhw.ac.jp
 犬飼康人：火曜日：18：00-19：30、E218(合同研究室)、inukai@nuhw.ac.jp